
記事でたどる 航海の軌跡 Vol. I (改訂版)



編集幹事： 松永 清子，竹村 徹，鈴木 政雄

出版年： 2015年

発行所： 東京理科大学 秋山仁研究室 出版事業プロジェクトチーム

総頁数： 669 ページ

解説：1946年から2006年までの活動記録をまとめた活動報告集。当初のB5版(2007年発刊)から、2014年に記事を読みやすく改訂し、A4版で発行。

記事でたどる 航海の軌跡 Vol. II



編集幹事： 松永 清子，酒井 利訓

出版年： 2012年

発行所： 東海大学教育開発研究所 秋山教授定年退職記念 出版事業プロジェクトチーム

総頁数： 552 ページ

解説：2007年から2011年までの活動記録をまとめた活動報告集。

記事でたどる 航海の軌跡 Vol. III



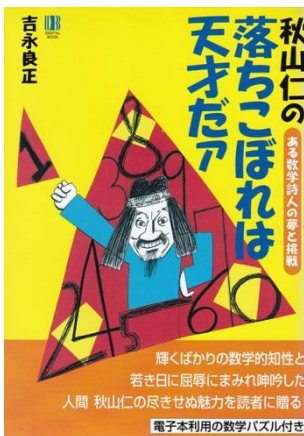
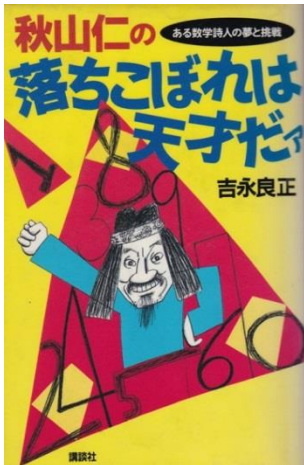
編集幹事： 松永 清子，竹村 徹

出版年： 2014年

発行所： 東京理科大学 秋山仁研究室

総頁数： 377 ページ

解説：2011年から2014年9月までの活動記録をまとめた活動報告集。



【デジタルブック版】



秋山仁の落ちこぼれは天才だ

☆文庫本も後に出版される

著者：吉永 良正

出版年： 1993 年

発行所： 講談社

総頁数： 304 ページ（デジタルブック版あり）

解説：読者は、秋山仁のあまりにも多方面への興味とその結果で味わう屈辱の日々の物語に引き込まれているうち、いつしか自分が秋山の掌中にいることに気付くだろう。たとえどれほど不可能に見えようとも、努力さえすれば必ず達成する事ができる。まさに「不可能を可能にし、無から有を創り出す挑戦の日々」こそ秋山の信条であり、真骨頂だと悟るのである。そしてあなたも日々これ挑戦と自分の人生をかけたくなるのである。

秋山仁の落ちこぼれは天才だ

著者：吉永 良正

出版年： 2004 年

発行所： 講談社

総頁数： 256 ページ

解説：読者は、秋山仁のあまりにも多方面への興味とその結果で味わう屈辱の日々の物語に引き込まれているうち、いつしか自分が秋山の掌中にいることに気付くだろう。たとえどれほど不可能に見えようとも、努力さえすれば必ず達成する事ができる。まさに「不可能を可能にし、無から有を創り出す挑戦の日々」こそ秋山の信条であり、真骨頂だと悟るのである。そしてあなたも日々これ挑戦と自分の人生をかけたくなるのである。

二十歳のころ



編者：立花 隆，東京大学教養学部立花隆ゼミ

出版年： 2001 年

秋山 仁 (分担インタビュー：49-59 ページ)

発行所： 新潮社 (文庫本あり)

総頁数： 633 ページ

解説：輝ける青年期をどう過ごすかで、後の人生は大きく変わる。あの人の運命を変えた若き日の出来事とは？二十歳を生きる若者たちが、熱い思いで突撃インタビュー。有名無名・老若男女、68の青春模様。

私は、本書をできるだけ多くの二十歳前後の若者たちに読んでもらいたいと思っている。二十歳前後というのは・・・、人が自分を発見するための時期である。自分の生き方を発見する時期である。それ故にこそ、いちばん悩み多い時期でもある。誤りを犯しやすい時期でもある。・・・人生の選択を迫られながら、選択ができない時期でもある。・・・そういう時期なしには、どんな人生も成立しないのである。自分の二十歳前後をうまく通過していくために、いろんな人の二十歳前後を知る事が必要なのである。

(「はじめに」より抜粋)

夢仕掛け人・秋山仁



著者：加納 幹雄

出版年： 1994 年

発行所： 海鳴社

総頁数： 218 ページ

解説：数学者・秋山仁の活動を、日本のグラフ理論の黎明期から身近に研究者として接してきた著者は忘備録として記録してきた。それがとりもなおさず、日本のグラフ理論誕生の歴史を語る貴重な資料となった。小さなサークルから出発し、国際会議の主催、国際雑誌の編集など、秋山仁ははじめ多くの人々の悪戦苦闘ぶりが、生き生きと語られる。さらに著者は研究生生活で気づいたさまざまな出来事、知っておけば得をする事柄などを、軽妙なタッチでエッセイとしてまとめた。とりわけ若い人たちに贈る著者の人生談義。